

SPECIAL FEATURE 2

ヤマハからの「あしたらしい風。」

2012年のヤマハ発動機からのメッセージは、「あしたらしい風。」地球上のあらゆるフィールドで、<心を動かす乗りもの>の可能性を追求するヤマハ発動機のモノ創りに、新しい進化への模索が開始されています。



PAS WITH

Y125もえぎ

東京モーターショーに「あしたらしい風。」

今回で42回目を迎える東京モーターショー(2011年11月30日~12月11日/東京ビッグサイト)に、当社はコンセプトモデルを含む二輪車20機種とパーソナルモビリティの多様性を演出する特別出展物5台を出展しました。2011年度のヤマハブースのメッセージは、乗りものがもたらす「あしたらしい風。」それは、二輪車をはじめとするパーソナルビークルの有用性や利便性、楽しさや爽快感、未来へ広がるさまざまな可能性など、<心を動かす乗りもの>への期待感を表す言葉です。これに基づき、ワールドプレミア出展モデルとして世界初披露となった電動スクーター『EC-Miu』と電動アシスト自転車『PAS WITH』は、その斬新なフォルムとともに、次世代モビリティの期待感をふくらませる「つながるバイク」サービスの魅力をアピール。同サービスの実現に向けて連携するトヨタ自動車のブースにも同時出展し、大きな注目を集めました。

ほかにも、ヤマハのデザインフィロソフィと親しみやすさを調和させた『Y125もえぎ』や機動性と利便性を際立たせたSUV二輪車『XTW250陵駆』など、存在感あふれる出展モデルが来場者の関心を集めました。ブランド名をともにするヤマハ株式会社の協力を得て最先端のスピーカー・システムにより実現した斬新な音響演出とともに、84万人を超える来場者たちはヤマハからの「あしたらしい風。」に心を動かし、二輪車の新しい可能性を感じ取っていました。



PAS WITH



EC-Miu

XTW250 陵駈

トヨタ自動車との連携を強化

ヤマハ発動機は、1967年発売の「トヨタ2000GT」を共同開発して以来、幅広い分野においてトヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）と協力関係を築いてきました。2011年11月には、「つながるバイク」サービスの開発などで次世代モビリティ社会構築に向けた協業という新たな分野において連携を強化することに合意しました。

「つながるバイク」は、当社成長シナリオの新規領域「豊かな生活」「楽しい移動」具現化の一つの手段です。本合意によりクルマとバイクが、充電インフラを共有し、トヨタのエネルギー管理システムである「トヨタスマートセンター」をつなぐことで統合的な情報インフラの早期構築と、シェアリング等の新交通システムの確立を目的としています。近く実証実験を始め、「つながる」機能を搭載した車両およびサービスの商品化を目指します。

これにより、スマートフォンやWi-Fi通信を活用したカーナビ・テレマティクスサービスをヤマハ製バイクで可能とし、充電スタンドの位置情報や満空情報、充電完了通知、将来的にはシェアリング情報の配信（予約・充電確認/認証・課金等）など、各種「つながる」サービスを提供する予定です。また、トヨタメディアサービス株式会社がEV/PHV向けとして販売する充電スタンド「G-Station」など、充電インフラの共同利用も実現し、バイク、クルマの双方で共用可能な充電インフラ構築を目指しています。

